

彦一風

の作り方

編集 大道寺 高明

◎ 彦一凧について

「彦一凧」を考え出したのは、里村彦一という千葉県の歯医者さんです。誰が作っても大空高く飛び出すことを考えて作られたものです。糸さえしっかりしていれば、2000疋から3000疋も揚がると言われています。

◎ 材 料

| | | | | |
|---|-----|--|---------|--------------|
| 1 | わり竹 | たて骨 (A) | 90 cm | 1 本 |
| | | よこ骨 (B) | 55 cm | 1 本 |
| | | よこ骨 (C) | 30 cm | 1 本 |
| | | 尾 翼 (D) | 65 cm | 1 本 |
| 2 | 紙 | 95 cm×70 cm | | 1 枚 (尾翼用も含む) |
| 3 | 糸 | 張り糸 (たこ糸) | 4 m | |
| | | (3 m×1 本、 65 cm×1 本、 35 cm×1 本、 25 cm×2 本) | | |
| | | 結び糸 (8 番綿糸) | 20 cm×6 | 60 cm×1 |
| 4 | のり | 工作用のり | | 少々 |

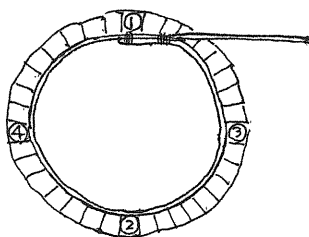
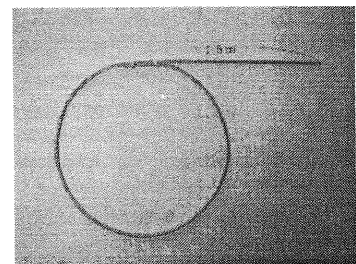
◎ 準備する道具

ものさし (60 cm以上がよい)、鉛筆、はさみ、小刀

作 り 方

1 尾翼の作り方

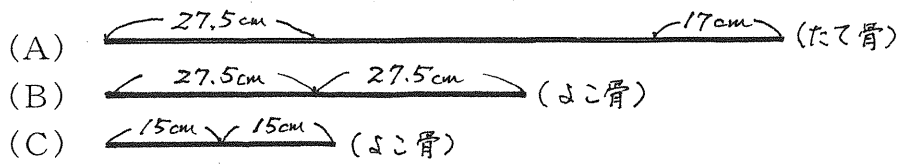
- (1) Dの竹の15 cmのところにしるしをつける。
- (2) Dの竹の皮の方を外がわにして静かに曲げる。
- (3) 6の字のようにして糸で2カ所 (2~3 cm離して) しぼる。(直径16 cm程度)
- (4) 紙をはる。(作業は全体の型紙と同時に切り出す)



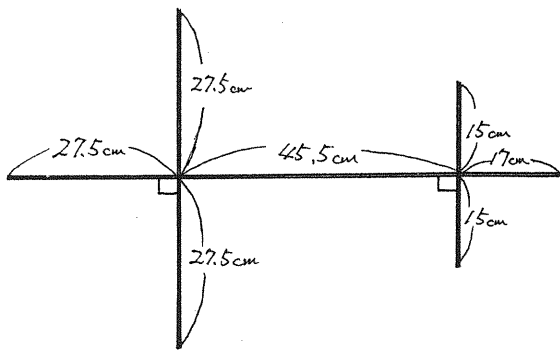
竹の輪よりも2 cmぐらい大きな円を紙に書き、竹の輪の大きさの所まで切れ目 (2 cm間隔程度) を放射状にいれる。はりつけるときには、まず①②③④の順にきちっと竹の輪にまきつけてはってから、その他の部分をまきつけてはりつける。

2 たて骨 (A) によこ骨 (B) と (C) をむすびつける

- (1) たて骨 (A) とよこ骨 (B) と (C) にそれぞれに下図のような位置にしるしをつける。

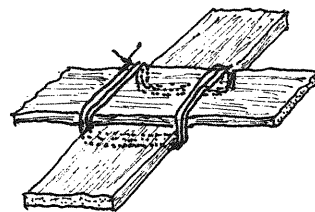
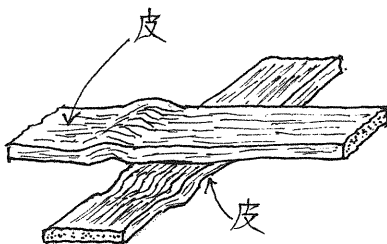


- (2) (A)、(B)、(C) の竹の両端に小刀でわれめをいれる。
 (3) (B)、(C) の竹がしるしをつけたところで左右同じ長さになるようにけずる。
 (4) たて骨 (A) によこ骨 (B) と (C) を下図のようにむすびつける。



たて骨とよこ骨 2 本を左図のような位置に下図の組み合わせと糸の巻き方のようにして、しっかりむすびつける。

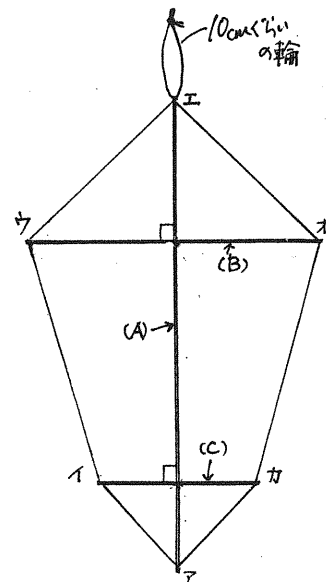
- ① よこ骨とたて骨の組み合わせ方 ② 糸のまきつけ方 (四角むすび)



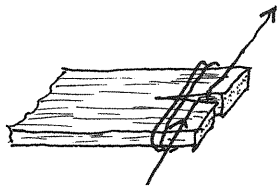
3 竹のまわりに糸をはる

- (1) (A)、(B)、(C) の竹が直角になるように糸をはる。
 (2) 糸をはる順序

- ① アの部分の割れ目に、約 3m の糸を半分にして 2~3 回まきつけ
 イ ウ
 ア エ の順にまきつける。
 カ オ



② イ、ウ、カ、オの部分の糸は、下図のようにまきつける。

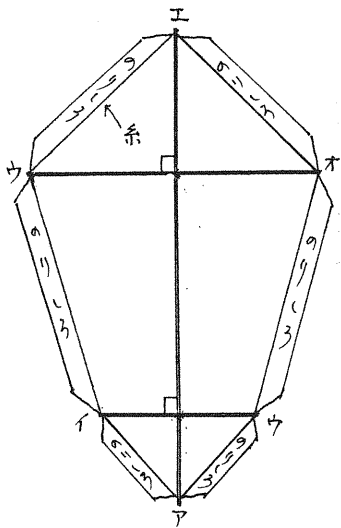
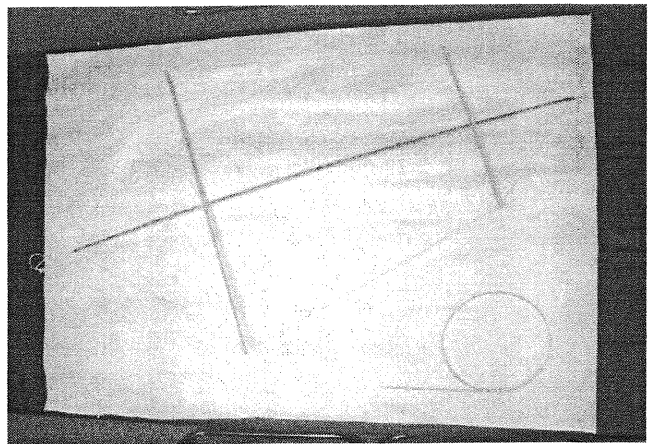


竹の割れ目に糸をいれて2～3回まきつけ、さらに割れ目に入れて出す。

③ エの部分では、オとウからきた二本の糸をまとめて割れ目に入れてまきつけ、しっかり結び、あまった糸で10cmぐらいの輪をつくる。

4 まわりの糸に紙をはる

(1) 組み立てたものを尾翼の型紙と
いっしょに並べて紙の上におき、
両方の型をとる。



(2) まわりの糸より2～2.5cmぐらい大きく左図のようにのりしろの線を引いてくる。

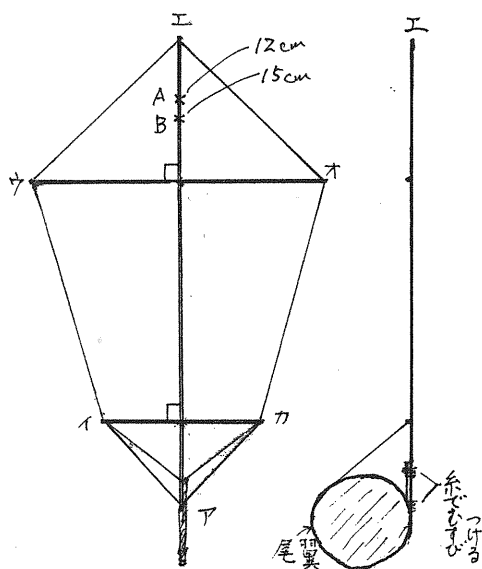
(3) 次の順にはっていく。

| | | |
|-----|-----|-----|
| エーオ | オーカ | カーア |
| エーウ | ウーイ | イーア |

(4) 紙をはるときの注意

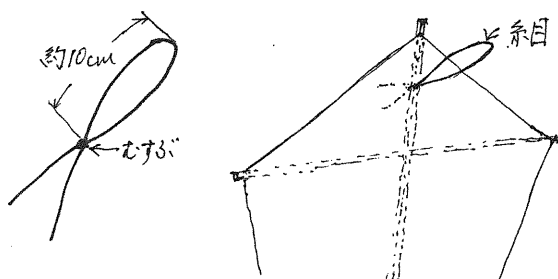
- のりしろにのりをつける前に、糸にそって紙をおる。そして、紙をひらいてのりをつける。
- 紙で糸をつつむようにしてはるが、糸がまっすぐになるようにしてはる。

5 尾翼をつける



- (1) たて骨のアの部分に尾翼をつける。
- (2) 尾翼は絵や字を書く方にくるようにする。
- (3) 尾翼をささえるためにイ、カから図のように糸をはる。

6 糸目（あげ糸をつける糸）を上図のA、Bの二カ所に下図のようにしてつける



- ・ Aは風の強いときに使う
- ・ Bは風の弱いときに使う

7 張り糸をつける

ウーオとイーカの間に張り糸をつける

- ・ 風の強いときには、大きくまげる。(強く張る)
- ・ 風の弱いときには、小さくまげる。(少し張る)